

■特集①

第37回JA愛媛県大会

■特集②

愛媛県果樹統一配合肥料の取り組みについて

Feb. Mar.







〜さといも「伊予美人」〜①



チョコなど8種のチョ 安心の健康食品です。

味が

加わります。

もイラストの

パッケージもか

バレンタイン&ホワイ

子どものおやつから酒の肴まで幅広い世代に愛される

冬季限定で、 コレート

苺チ

ノヨコ

ーや伊

予柑

元産にこだわり、

添加物を使わず、

食物繊維も豊富で

種

弓削島の

あまも塩」、

宇和海産の鯛など、

地 0) 品

化に踏み切ります。

種類は

「しお」「鯛」

「チーズ」

商 越

株式会社別子飴本舗

新居浜市郷2-6-5 住 所 Т Ε L 0897-45-1080 設 立 1952年 (昭和27年) 表者 代表取締役 越智 秀司

▲「地方からおいしいものを発信して いきたい」と越智秀司社長

揚げるアイデアがひらめきました。

Aうまのイベントに並列した試作品は大好評、

さとコクのある「伊予美人」

とうどんの粉末を練っ

7

東京・銀座三

別子能本舗

広がっていきます。 定 ないほどです。 茶漬けに活用するなど新し 方を提案し、 ・デー 商 やサラダへのトッピン ポリポーリ」 ますます楽しい食の 品 へ向けて生産が追 「もんじ 東京土産には限 ゃ はサンド 焼 味 グ、 世 11 昇が が (V イ つ 好 食 鯛 ッ

さといも「伊予美人」は JA全農えひめの登録商標です!

「伊予美人」は県が選抜育成したさといも「愛 媛農試V2号」の商標。白くてきめ細かな肉質、 丸々とした整った形から命名。さといも本来の 粘りが強く、濃厚な甘みがある。

採用されたのが始まりです。 本舗 め農商工連携ファンド 6年ほど前 は、 うどんけんぴを作った経験から、 「伊予美人」の親芋活用法を相談され、「 (農商工連携助成事業)」 手打ちうどんも作る別 粘りと甘

た新食感のさといもスティック・バー 名も ぽり É 「ポリポーリ」 ŋ ぼ ŋ ぽり、 はさといも「伊予美人」を使っ 食べ始めたらとまらな (スナック菓子)

JA全農えひめ情報



2019年2-3月号

CONTENTS

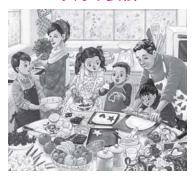
全農グループの経営理念

私たち全農グループは、 生産者と消費者を安心で結ぶ 懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- ○営農と生活を支援し、元気な産地 づくりに取り組みます。
- ○安全で新鮮な国産農畜産物を消費者 にお届けします。
- ○地球の環境保全に積極的に取り組み ます。

今月の表紙



いまや甘党の"スイーツ男子"も急増中。バレンタインやホワイトデーに向けて、男の子も女の子も一緒に厨房に入ってスイーツをつくってみるのもまた楽しいもの。おいしく上手くできた達成感や高揚感を味わうことで、"料理"という新しい世界に興味のベクトルが広がっていくかもしれませんね。

●表紙:バレンタインデー&ホワイトデー はら ふみ(イラストレーター)

※『あぐり~ど』は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心を一つにする (Agreed)」という意味 を込めています。 農の風景Vol.208

美味絶賛~さといも「伊予美人」~① 株式会社別子飴本舗

2 〈特集①〉

第37回 J A 愛媛県大会

創造的自己改革の実践

~組合員とともに愛媛の農業と地域の未来を拓く~

4 〈特集②〉

愛媛県果樹統一配合肥料の取り組みについて

農業者所得増大を目指して 果樹配合肥料を銘柄集約

6 │ ふるさと ESSAY VOL.276

笑いヨガ (ラフターヨガ) のススメ 枝廣 篤昌さん

- 8 TOPIC NEWS
- 15 | 統計BOX
- READERS通信
 NOW NOW COOKING
 (今月の素材) ほうれんそう

JA全農えひめ

ホームページ http://www.eh.zennoh.or.jp



- ■JA全農えひめ「えひめの食」企画 http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/ ※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。
- ◆㈱えひめ飲料 http://www.ehime-inryo.co.jp
- ◆JAえひめアイパックス㈱ http://www.iyokkora.jp/
- ◆JAえひめフレッシュフーズ㈱ http://fresh-ranran.jp/
- ◆㈱ひめライス http://www.himerice.jp/
- ◆JAえひめエネルギー㈱ http://www.ja-ehimeene.co.jp
- ◆JAえひめ物流㈱ http://www.jat-ehime.co.jp/



-プ愛媛は、12月3日、松山市で、「第37回JA愛媛県大会」を開催しました。 JAグル-

大会には、JAグループ愛媛の生産者組織代表者、 JA役職員など約450人が出席。「創造的自己改 革の実践〜組合員とともに愛媛の農業と地域の未来を拓く〜」を基本方針として、JAグループ愛媛 の今後3年間の取り組みを決議しました。

また、西日本豪雨からの復旧・復興に向けて、JAグループ愛媛を挙げて取り組むことを確認しま した。

JA全農えひめは、「農林水産業・地域の活力創造プラン」に係る取り組み「自己改革」を加速し、 JAの取り組みを効果的に支援するための新たな事業モデルの構築とそれに対応する事業運営方式の 見直しを図っていきます。

今回は、大会で決議されたJA全農えひめの取り組みを紹介します。

資材価格形成の仕組みを見直 生産者所得向上につながる生

経済事業 (JA全農えひめ)

ラン」に係る取り組み より取り組み 一農林水産業・地域の活力創造プ (平成29年

1 販売事業

務提携やパー の事業から、 米卸売業者や卸売市場経 取引先への ナー市場の選別等 出資 由 主体

加工 生産 行うことができる農産物の流 の業界構造の確立をめざしま 者が有利な条件で安定取引を 通

自己改革実践中!

「食」「農」「協同組合」にかかる県民理解の醸成

Aグループ愛媛の創造的自己改革の実現

取り組み発信

創造的自己改革の3つの取り組み分野

取り組み分野①: 「農業

- 愛媛農業の復興・さらなる発展に向けた「農業者 の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦
 - 継続可能な愛媛農業の実現に向けた取り組み 等

取り組み分野②:「組織」

- 「地域の活性化」への貢献
- 地域における J A の役割発揮
- 組合員の「アクティブ・メンバーシップ」の確立 -組合員との徹底した対話
 - 准組合員の意思反映・運営参画 等

- 自己改革の実践を支える経営基盤の強化
- -地域・JAの枠を越えた事業間連携の研究・実践

取り組み分野③:「経営」

- ·総合事業体としての機能を果たすための事業モ デルの転換(販売事業を中心とした事業伸長と すべての事業の効率化、生産性向上)
- -自己改革の実践を支える人材の確保・育成の強

り向上をめざします。 を行いながら、 した事業へ転換し、 など実需者への直接販売を主体と 量販店や加工業者 生産者の手取

(2) 購買事業

めざします。 入などによる資材価格引き下げを 機能を絞った低価格農機の共同購 とジェネリック農薬の普及促進、 肥料農薬の銘柄集約・事前予約

新たな事業モデルの構築

リットの最大化 (1) JAグループのスケール

します。 リットを生かした取り組みを強化 JA域・県域を越えたスケールメ 全国リレー出荷体制の構築など、 る広域集出荷施設等の整備・活用、 たな共同購入や、 購買事業における結集による新 販売事業におけ

(2) マーケットインを軸とした

販売力強化

切り替え、 の拡大、 買取販売の拡大に加え、 農畜産物実需者への直接販売や 輸入農畜産物の国産への e コマース事業の本格 契約栽培

> なる輸出拡大とそれに対応できる 展開・新たなインバウンド需要へ 産地づくりを進めます。 の対応に取り組むとともに、 さら

チェーンの構築および高度化 (3)生産から消費までのバリュ ١

的に展開します。 業との技術連携・業務提携を積極 的に管理する情報システムの整備 取り組み、それに向けた様々な企 などバリューチェーンの高度化に や取引先のトレンド情報等を総合 合理的な物流体系や、 生産情報

組み、 付加価値の拡大をめざします。 品開発・提案に部門横断的に取り また、消費者に向けた新たな商 生産振興と国産農畜産物の

(4)地域社会づくりへの貢献

す。 地域社会づくりへの支援を行いま 施策を拡充するとともに、上記 (2)、(3)の取り組みを通じて 地域のライフラインを維持する

全農の事業運営方式の取り組み

保に向け、 応 生産と消費の現場課題への および持続的な農業生産の確 JAグループ内の機能 対

> で事業運営コストを抑制します。 JA経営基盤強化に向けた

分担を見直し、JAグループ全体

1

りJAの運営コストを削減し、 営等、運営効率化の取り組みによ によるJAと全農との事業一体運 合員サービスを強化します。 JAと全農の機能分担の見直し

2 JAの農家対応力の強化支

援

す。 Aの農家対応力の強化を支援しま 結集、TAC活動の強化など、 A販売・購買事業へのより一層の 地域生産振興支援や、 農家のJ J

最適化 (3) 全農グループの経営資源の

を図り、経営計画に反映します。 事業の効率化や経営資源の最適化 子会社を含めた全農グループの

けた支援 (4) 生産現場への課題解決に向

イ. ア.農業労働力確保に向けたパー どに取り組みます。 トナー企業と連携した農作業受 農業生産規模の拡大にともな の仕組みの構築および導入な

> 農業ICTなどの革新的技術 導入・普及に取り組みます。 化」に役立つ、全自動ドローン、 や農作業、農業経営の「見える 力確保への対応として、 課題となる圃場管理や労働 省力化

ター」による担い手支援 「県域担い手サポートセン

維持・拡大に努めます。 労働力支援に向けた取り組みを進 新規就農者の確保・育成支援、 愛媛県内における生産基盤の

センターを核とした生 販売の最適化 畜産事業における食肉 ・集荷・と畜・加工・

集荷、 生産や農場運営など、 販売拠点整備の観点から、家畜の 力強化をすすめるにあたり、 ありかたの検討・実行に取り組み センターへの機能集約および食肉 畜産基盤の維持拡大と食肉販売 食肉販売、 飼料販売、 畜産事業の 契約

タルコスト低減 よ 3

農業者所得増大を目指 果樹配合肥料を銘柄集約

して

銘柄集約と共同購入による新たな しとして全国では高度化成肥料の 生産資材価格形成の仕組みの見直 プラン」に係る取り組みにおいて、 - 農林水産業・地域の活力創造

購買方式に取り組んでいます。

増大を目指しています。 ルコストの低減により農業所得の 上・物流の効率化等を進めトータ を7銘柄に集約し、 り扱う果樹配合肥料の主要65銘柄 の取り組みとして、県内JAで取 方、 愛媛県は果樹産地の独自 製造効率の向

背景

造コストが上昇、 地が高品質安定生産に向け、 銘柄当たりの製造数量が減少し製 している中、銘柄数は変わらず1 担い手不足による産地基盤が縮小 ごとに多くの銘柄が生まれました。 されてきました。その結果、 ストなど様々な条件を検討し設計 の土壌実態や気候、肥効、反当コ しかし、近年は農家の高齢化や 愛媛県の果樹配合肥料は、 将来的に製造が 地域

> 考えられます。 難しくなる肥料も発生することが

なっています。 有機原料ともに価格は上昇傾向と 料の需要も高まっており、 食糧生産拡大にともない、 また、世界的な人口増加 化成• による

収受する取り組みを行っていま 境の改善及び長時間労働の抑制に コストを抑える取り組みを始めま 料についても銘柄集約により資材 す。このようななか、果樹配合肥 送約款の改定により適正な運賃を 取り組むため、標準貨物自動車運 さらに、物流業界では、 取引環

銘柄集約に向けた 配合設計の検討

トを実施しました。 上の課題や要望に対するアンケー 銘柄集約を行った場合の栽培指導 A愛媛果樹技術指導員会において 65銘柄の集約にあたっては、 J

りましたが、「銘柄を集約するこ のこだわりもあり様々な意見はあ アンケートの結果は、 産地ごと

> るのであれば検討を進めても良 が大半を占め、「コスト削減とな 栽培指導で対応できる」との意見 い」との同意を得られました。 行と少し違っても栽培への影響は とで生じる窒素成分や有機率が現 これを受け、 JA愛媛果樹技術 主要65銘

媛県下で使用できる7設計を決定 落葉果樹タイプ・アグリエース(微 洗い出し、レギュラータイプ・こ 類し、設計上重視する面や課題を 柄の成分・有機率・原料などを分 部会代表者会を開催し、 指導員会栽培(品種・土壌)研究 しました。 量要素)入りタイプを基本に、愛 だわりタイプ・低コストタイプ・

価格の決定方式

定することとしました。 定供給ができるメーカーを指名 に、中四国・九州・関西地域で安 給実績のある製造メーカーを基本 に指名競争見積会により価格を決 価格決定方式は、愛媛県内に供 JAからの予約積み上げを基

また、見積価格はJA全農えひ

【表 1】愛媛県果樹統一配合肥料一覧

No.	統一配合名称	保証成分(N-P-K)	有機率	特 徵
1	えひめ有機配合1号(粉状/粒状)	10-7-7	60%	魚荒粕・魚ぼかしを合計30%配合 フェザーミール・皮粉・蒸製骨粉など良質の動物質有機を使用 動物質有機:51%、植物質有機:9%を配合
2	アグリエース入り えひめ有機配合2号(粉状/粒状)	10-7-7 ほう素0.05%	60%	魚荒粕・魚ぼかしを合計30%、微量要素資材のアグリエースを配合フェザーミール・皮粉・蒸製骨粉など良質の動物質有機を使用動物質有機:48.5%、植物質有機:11.5%を配合
3	アグリエース入り えひめ有機配合3号(粉状/粒状)	10-7-7 ほう素0.05%	50%	魚荒粕・魚廃物加工肥料を15%配合 微量要素資材のアグリエースを配合 動物質有機:20%、植物質有機:30%
4	アグリエース入り えひめ有機粒状288	12-8-8 ほう素0.05%	40%	窒素成分を上げ反当施用袋数を少なくしたタイプ フェザーミール・皮粉・蒸製骨粉など良質の動物質有機を使用 動物質有機:20%、植物質有機:20%
5	えひめ有機配合特5号 (粉状/状)	7-5-5	82%	品質向上のため魚荒粕・魚ぼかしを合計50%配合 フェザーミール・皮粉・蒸製骨粉など良質の動物質有機を使用 動物質有機:73%、植物質有機:9%
6	アグリエース入り えひめ有機配合6号(粉状/粒状)	8-7-8 ほう素0.05%	60%	県下の落葉果樹用の配合肥料として設計 微量要素資材のアグリエースを配合 動物質有機:20%、植物質有機:40%
7	えひめ有機配合7号(粉状/粒状)	8-7-7	60%	魚荒粕・魚ぼかしを合計15%配合 皮粉・蒸製骨粉など良質の動物質有機を使用 動物質有機:26%、植物質有機:34%

とができました。 上等により価格引き下げを図るこ 集約による量的拡大と製造効率向 でしたが、既存銘柄と比べると、 幅な価格引き下げとはなりません にともない当初目標としていた大 価格は、 昨今の原料価格の上昇

取り組み平成31年果樹春肥 **D**

択できる仕組みとしました。

毎に一番効率のよい物流体制が選

「工場置場引取」など、JA

ンター持込を基準とし、「JA持 めの東・中・南予の各地区物流セ

を7銘柄に集約することができま 春肥期の既存51銘柄の内17銘柄 前予約数量の取りまとめを行い、 参画JAから春需要を見込んだ事 成30年11月14日に開催しました。 0袋に対する指名競争見積会を平 の参画のもと計7銘柄、52、22 平成31年4月納品)は、県下6JA 開催に当たり、県本部は9月に 平成31年春肥 (平成30年12月~

供給に努め、 んでいきます。 る仕組みづくりに引き続き取り組 今後とも肥料の品質安定と安定 肥料価格の抑制を図

今後の取り組み

進めます。 りましたが、未参画JAについて 県域物流体制の見直しを行い、 集約に向け検討を進め、 ない銘柄もあり、よりいっそうの 配合肥料 今後進めていきます。また、 は早期の参画に向け課題等協議を トータルコスト低減に向け検討を 春肥では6JAの参加にとどま (7設計) では集約でき さらに、 統

Vol.276



多くなり、ご存知の方もおられると思 ルがあるので紹介いたします。 いますが、笑いヨガ、という面白いツー 楽しく笑うことが健康に良いという 最近テレビ等で取り上げら いれる事

する効果があると言われています。 は人とのコミュニケーションを円滑に 気分を改善する効果等。また、笑いに スを整える効果、免疫力を高める効果 散効果、自律神経やホルモンのバラン ことがわかってきました。ストレス発

年にインドの医師マダン・カタリアが は笑いの体操とヨガの呼吸法を取り入 立つのが、笑いヨガ、です。、笑いヨガ また、つらい時や悲しい時、不安な時 には笑うに笑えません。そんな時に役 面 めました。人間の身体は、 は案外少なかったりするものです。 ところが、日常生活の中で笑える場 ユニークな健康法で、 本物の笑 1 9 9 5

いと「作り笑い」の区別がつかない事

事を利用しています。 ″笑う動作″ が感情に影響を及ぼ

ら面白くなる〟のです。 白いから笑う』のではなく、〝笑うか 動作で気分は大きく変わります。゛面 す。そう!楽しくなくても、笑う。 上げるだけで気分は前向きに変わりま ません。手を上げ、胸を広げ、 むいていると、前向きな感情にはなれ 化しやすいのです。背中を丸めてうつ や動作を変えると案外気分や感情は するのはとても難しいのですが、姿勢 気分や感情を頭の中でコントロ 目線を

①深呼吸 笑いヨガの実際

ら上半身を起こしながら鼻から息を吸 吐き切る事が大切です)。 込むにはまず肺の中のよどんだ空気を りと息を吐きます(新鮮な空気を吸 上半身を軽く前に倒しながらゆっく 腕を上にあげてストレッチをしま 吐ききった

■プロフィール■

精神科医 (四国中央市・豊岡台病院 院長)。日本笑い学会四国支部・ 代表。社会人落語家「芸乃 虎や志 (ゲイノ コヤシ)」の高座名をもつ。 1962年9月22日生まれ、広島県呉市出身。愛媛大学医学部卒業。 大学の落語研究会OB、第2回社会人落語日本一決定戦、優勝。精 神保健福祉の啓蒙の一環として毎年「うま! 心の健康寄席」を開催、 新居浜を中心にプロ(古今亭菊志ん、桂吉弥 ほか)やアマ落語家 の出演する落語会を企画、演題「笑いのチカラ」の講演、新居浜市 の「全国高校生笑い日本一決定戦 "笑顔甲子園"」発案等、「笑い」 をベースにした地域づくりを実践し、普及活動につとめる。2015 年、笑いの体操とヨガの呼吸法をミックスした健康法「笑いヨガ」 の認定ティーチャーの資格を修得、笑いクラブ等の身近に笑える 場造りにも精力的に取り組んでいる。

【笑いヨガ 参考HP】

- ラフターヨガ・インターナショナル https://laughteryoga.org/ja/
- ラフター・ヨガジャパン http://laughteryoga.jp/
- ●日本笑いヨガ協会 http://waraiyoga.org/

【笑いヨガティーチャー開催の笑いヨガ講座】(参加無料)

- ●新居浜あかがね笑いクラブ(あかがねミュージアム 多目的ホー TEL 0897-31-0305) 原則毎月最終火曜 (4月は23日、9月 は25日水曜、12月は17日)18:30~20:00
- ●とよおか笑いクラブ (豊岡台病院 1 階機能訓練室 TEL 0896-25-0088) 原則毎月第4土曜 (12月は21日) 14:00~15:00

EDAHIRO



▲みんなで元気に笑いヨガ。あかがねミュ-

※ホとハの発声は大笑い時の横隔膜の と声を出します。 上下運動を再現し、横隔膜が最も良

③子どもにかえるキーワード

※大人になると喜怒哀楽の表現や、 イ!」と声を出します。 イェーイ!」「やった、やった、イェー 手拍子に合わせ「いいぞ、いいぞ、 ほ

1、2、123のリズムの手拍子に合 を誘発しやすくなる。 かえり、互いをほめ合うことで笑い められることが少なくなる。童心に

②手拍子と掛け声

わせて「ホッ・ホッ・ハッ・ハッ・ハッ

す。深い呼吸を意識してください。

④笑いのエクササイズ (笑いの体操)

呼吸を整えながら行います。 動ですので、時折①の深呼吸を入れ、 つなぎます。笑いヨガは軽い有酸素運 ズとエクササイズを②と③の掛け声で る等して行います。また、エクササイ 日常の行動や動作を笑いで置き換え

笑いのエクササイズの例

手を合わせて相手を見ながら「ナマス **゙ナマステ笑い、**インドの挨拶は両



テ〜」と言います。これを言うかわり

に「ハハハハハ…」と笑いかけ、笑顔

の交換を行います。相手の笑顔を見る

と自然に自分も笑顔になります。

け声がかかったら、気持ちよく車を運

〝青信号赤信号笑い〟「青信号」と掛

転しているふりをし、動きまわります。

「赤信号」の声で、その場で止まり笑

を互いにかけ合いながら笑います。

もの頃の無邪気な気持ちで、冷たい水

〝河原(海辺)で水遊び笑い、子ど

▲笑いヨガをしている枝廣篤昌さん

くと実際の状況下でも、笑いで気分を います。嫌な場面で笑う練習をしてお

ます。エクササイズで笑いの筋肉(ゲ 笑い』 "携帯電話笑い』 等、 大笑いして楽しみやすくなってきます。 ラゲラ筋)が発達し、少しのことでも 変えやすくなります。 他にも『鳥のフン笑い』 "大当たり 色々あり

ジョークを介さなくても良く、認知症 では2010年秋から毎日10分、″笑 気がとても良くなりました。皆さんも いヨガ〟を行っています。ユーモアや みてはどうでしょうか。 是非〝笑いヨガ〟を生活に取り入れて もちろんですが、何よりも病棟の雰囲 の方も安心して笑えます。健康効果は 私の勤める豊岡台病院の精神科病棟

●がんばれ受験生!「『愛媛いよかん』=いい予感」 湯島天神で合格祈願「愛媛いよかん」3,000個配布

JA全農えひめ果実課は、愛媛県が全国生産量の 約9割を占める伊予柑をPRしようと、「がんばれ受 験生!『愛媛いよかん』="いい予感"」をコンセ プトに、1月12日、東京都文京区の湯島天神の境 内で、合格祈願のお祓いを受けた「愛媛いよかん」 を参拝者3,000人に無料配布しました。

この取り組みは、合格の縁起物として毎年実施し ており、今回で34回目。受験シーズンの恒例行事 になっており、合格祈願で参拝する受験生や家族に 合格の縁起物として喜ばれています。

今年も、配布開始前から行列ができる中、境内に 「合格まで風邪をひかずに頑張ろう。愛媛いよかん =いい予感 | の天幕を掲げて、かすり姿の女性が、 参拝される受験生やその家族に「いい予感が当たり ますように|「縁起のよい伊予柑です」と声をかけ ながらお祓いを受けた伊予柑とメッセージの入った 袋を手渡し、参拝者は嬉しそうに持ち帰っていまし た。

JA全農えひめ果実課は、「愛媛いよかん=いい 予感 | をキャッチフレーズに、学業や恋愛成就等の 縁起物としても伊予柑の購入・消費拡大を呼びかけ ています。



「いい予感があたりますように」と配布



愛媛いよかんポスター



受験生へのメッセージも添えています

●第41回えひめみかん祭り

県内各地の柑橘30種類以上を一堂に集め 愛媛産柑橘の魅力をPR!

愛媛県果樹同志会、愛媛県、JA全農えひめなどは、1月19日と20日の2日間、松山市のいよてつ高島屋8階特設会場で、「第41回えひめみかん祭り」を開きました。みかん祭りは、柑橘の品種30種類以上を展示・販売する「柑橘王国愛媛」ならではのイベントで、愛媛産柑橘のPR・消費拡大と果樹農業の振興を図ろうと毎年開催しています。

会場では、「味わって愛媛のかんきつ 届けよう 愛媛のこころ♡」をテーマに、「果実コンクール」 出品柑橘23品種203点の展示販売、同志会員らが説明を交えて、伊予柑・ポンカン・せとか、甘平、紅まどんなや日頃目にすることの少ない品種や加工品の試食販売を実施。来場者は品種の食べ比べを楽しんで、好みの柑橘を購入していました。

新品種の紹介、「ほ場コンクール」優秀園地のパ

ネル展示、ポンジュース蛇口、みかん風味ポップコーンの配布のほか、ステージ上では「愛のオレンジロード」の紹介、みかん早むき大会やみかんを丸ごと使った「みかん餅つき」などを実施。愛媛柑橘の美味しさと魅力をPRしました。



多くの来場者が詰めかけ大盛況でした

●第41回えひめみかん祭り果実・ほ場コンクール

大臣賞に忽那敬一さん(果実)と本田貴久さん(ほ場)

愛媛産柑橘の品質向上と果樹農家の生産意欲の高揚に向けて「第41回えひめみかん祭り果実・ほ場コンクール」の結果が、1月19日、「えひめみかん祭り」会場で発表され、農林水産大臣賞(優秀賞)には果実コンクールでは忽那敬一さん(JAえひめ中央)の「甘平」、ほ場コンクールでは本田貴久さん(JAにしうわ)の「宮川早生」の園地が選ばれました。

コンクール入賞者は次の皆さん(敬称略・カッコ 内は品種名・JA名)。表彰式は、3月18日開催の 愛媛県果樹同志会大会で行われます。

【果実コンクール】

▽優等賞=浜田武司(南柑20号・えひめ中央)、佐々木章人(不知火・にしうわ)、石田英久(せとか・えひめ中央)、村丸俊雄(愛媛果試第28号・同)、青井秀典(宮内伊予柑・同)、根来六夫(今津ポンカン・にしうわ)、渡部憲明(はれひめ・おちいまばり)、丸山俊明(はるみ・えひめ中央)

▽優良賞=和泉正輝(宮内伊予柑・えひめ中央)、 吉岡勝利(久能温州・同)、菅憲二(甘平・おちい まばり)、玉井真吾(宮内伊予柑・にしうわ)、山岡 篤(せとか・えひめ中央)、澤近瑛平(太田ポンカン・ えひめ南)、寺坂末吉 (不知火・えひめ中央)、竹村孝 (石地温州・同)、中鋪豊 (宮内伊予柑・同)、西山聡 (甘平・同)、重松敬太 (愛媛果試第28号・同)、二宮喜信 (南柑20号・えひめ南)、宮内勇人 (甘平・えひめ中央)、増田章 (河内晩柑・えひめ南)、青木聡 (せとか・えひめ中央)、小立晶人 (宮内伊予柑・同)、奥井朝夫 (レモン・おちいまばり)、丸井俊太郎 (不知火・愛媛たいき)、菊池俊光 (タロッコ・にしうわ)、吉川典多佳 (宮川早生・同)、松永進 (せ

とか・えひめ中央) 【**ほ場コンクール**】



農林水産大臣賞を受賞した忽那さんの 「甘平」

●甘平選果目合わせ会

「甘平」ブランド確立に向けて厳選出荷を徹底

愛媛オリジナル品種「甘平」の出荷を前に、JA 全農えひめは、1月7日、愛媛県農林水産研究所果樹 研究センターで「甘平選果目合わせ会」を開きました。

目合わせ会は、消者者・販売先の期待に応えるた め、品質の向上と品格の統一をめざし、2012年か ら行っています。JAの生産販売・選果担当者と愛 媛県、市場から約50人が出席し、JA全農えひめ の担当者が、サンプル果実を見せながら選別・出荷 基準を説明し確認。品格・価格に見合った商品を出 荷するよう呼びかけました。

「甘平」は、愛媛県が2007年に品種登録した、爽 やかなシャキッとした食感と甘さが魅力の品種。面 積・生産量とも年々拡大しており、産地の期待も大 きく、2017年産は257ヘクタールで2,089トン生産 され、市場平均kg単価は627円でした。

市場関係者は、「全国でも認知度が上がってきて いる。ブランド強化に向けて品質の均一化を徹底し てほしい と強調しました。

2018年産は、面積が前年比108%の277ヘクター ル、生産量は前年比92%の1,921トンを見込んでい ます(2018年12月時点・JA関係)。生育は順調で、 糖高酸低で食べやすい食味となっています。

JA全農えひめ担当者は、「今年の果実品質は良 好で美味しく仕上がっている。厳選出荷に努め高級 柑橘としてアピールしていきたい」としています。



JA全農えひめ担当者(左)が果実との比較で基準を説明

●平成30年度「愛媛県くり品評会」表彰式

農林水産大臣賞の三ツ井守恵さん、林敏彦さんらを表彰

愛媛県くり研究同志会(大野奉孝会長、会員数 1,988人) とJA全農えひめは、12月10日松山市で 平成30年度「愛媛県くり品評会表彰式」を開き、 農林水産大臣賞の立木部門の三ツ井守恵さん(JA えひめ中央)、果実部門の林敏彦さん(JAひがし うわ)をはじめ受賞者を表彰しました。

立木部門で農林水産大臣賞を受賞した三ツ井さん の園地は、14~16年生の働き盛りの樹齢で、筑波 主体に、早生から晩生までバランスよく植栽され、 低樹高に抑えながら樹勢を保ちつつ、受光態勢に優 れた樹づくりと細やかな剪定により、樹全体に着毬 が見られ収量性に優れた園地です。また、省力化技 術として、園内道設置、一発肥料の導入、防除は年 3回実施し、病害虫の被害はほとんど見られないな ど、高く評価されました。

果実部門で大臣賞を受賞した林さんの出品した 「筑波」は、特に果形、玉揃い、果皮の色つやも良 く品種系統の特性を備えた風格のある果実として評 価されました。

なお、JA全農えひめ扱いの30年産栗の市場販 売実績は177トン (前年比49%)、平均kg単価は947円 (同115%)。前年の豊作傾向から一転し着毬数は少 なく、夏季の高温乾燥より落毬、日焼け果等が発生 し、販売量は当初計画数量を大幅に下回りました。 ※入賞者は12月号11ページのトピックニュースで 紹介しています。



農林水産大臣賞を受賞した三ツ井さん(左)と林さん

●平成30年度愛媛県総合畜産共進会「肉牛・肉豚の部」「交雑種・乳用種の部」 農林水産大臣賞に谷口貴と株多田ファーム

大洲市のJAえひめアイパックス(㈱本社工場で、12月1日、2018年度愛媛県総合畜産共進会の「肉牛・肉豚の部」、「交雑種・乳用種の部」の審査・表彰式が行われました。県畜産協会が主催。農林水産大臣賞(優等賞首席)は、肉牛(黒毛和種)の部で谷口貴さん(JAえひめ南)、肉豚の部で㈱多田ファーム(JA愛媛たいき)が選ばれました。

肉牛の部(黒毛和種)は33頭、交雑種・乳用種の部は7頭が出品されました。肉牛の部では全般的に体型がしっかりしており、ロース芯も大きいものが多く、肉質4等級以上は84.8%でした。

大臣賞3回目の受賞となる谷口さんは、「嬉しさと驚きでいっぱい。これからも牛にストレスをかけないように丁寧な飼養管理に努めたい」と受賞を喜びました。

肉豚の部では、総体的に良好な枝肉が揃いました。 2年連続大臣賞受賞の㈱多田ファームの田中幸浩社 長は、「西日本豪雨の復興の中、このような栄誉あ る賞をいただき、今後の励みになった」と受賞に笑 顔を見せました。

購買者29社が参加してJA全農えひめ主催の肉牛のセリを実施。1kg単価は谷口さんの出品牛が最高で、5,030円(購買者=マルハフーズ㈱)。黒毛和種の平均単価は3,160円と高値で取引されました。

なお、共進会では、県畜産功労知事表彰として、 門田政男さんら3人が表彰されました。

その他の受賞者は次の皆さん(敬称略・カッコ内

はJA名)。

【肉牛の部】◆優等賞 ∇ 次席=関平畜産(ひがしうわ) ∇ 3 席=土居原克彦(ひがしうわ) ∇ 4 席= J A 愛媛たいき畜産センター(愛媛たいき) ∇ 5 席=土居利行(ひがしうわ) Φ 1 等賞 ∇ 首席=井上治宣(ひがしうわ) ∇ 次席=秦裕人(ひがしうわ) ∇ 3 席=氏原清時(えひめ南) ∇ 4 席=中野哲隆(愛媛たいき) ∇ 5 席=山内荘陸(ひがしうわ)

【肉豚の部】◆優等賞次席=侚菊間仙高牧場(おちいまばり)

【交雑種・乳用種の部】◆優等賞=高月淳(ひがし うわ)

【愛媛県畜産功労知事表彰】(カッコ内は市町) ▽門 田政男(今治市) ▽松田智(大洲市) ▽京森高賀(大 洲市)



大臣賞を受賞した多田ファーム(左)と谷口さん

●県畜産振興連絡協議会と県議意見交換会

将来に向け再生産可能な政策確立などを要望

愛媛県畜産振興連絡協議会は、12月13日、松山 市内で自民党県連畜産振興議員連盟(会長=渡部浩 県議)と「畜産に関する意見交換会」を開きました。

意見交換会は、平成13年から毎年行っており18回目。県議会議員17人のほか、県内4畜種(肉牛・養豚・酪農・養鶏)の生産者組織の役員、県・JA関係者など57人が出席。

協議会事務局(JA全農えひめ畜産部)から畜種別に情勢と課題を説明し、経営安定対策など将来にわたって再生産が可能となる政策確立、配合飼料価格安定制度の充実、県内産畜産物の消費拡大の取り組み推進などを要望したほか、県内4畜種の代表が、個別の課題と要望事項を説明しました。

協議会の本宮会長は、「県内の畜産生産基盤の維持発展と県内消費者に安全・新鮮な畜産物の安定供給に向けて、引き続き協力をお願いしたい」と要望

しました。

議連の渡部会長は、「愛媛の畜産担い手応援事業の要望など、皆さんの状況や意見を聞きながら、引き続き対処していきたい」と応じていました。

畜種別の主な要望は次のとおり

- ◆愛媛県肉牛生産者協議会=肉用牛経営安定対策の 仕組みづくりと県費助成の継続および生産基盤維 持・拡大に関する要望について
- ◆JA愛媛養豚経営者協議会=「養豚経営安定対策 事業」の仕組みづくりと県費助成の継続および生産 基盤維持・拡大、地産地消に関する要望について
- ◆愛媛県酪農経営者協議会=酪農の維持発展のため の要請について
- ◆愛媛県採卵養鶏経営者協議会=採卵養鶏の持続可能な生産・経営対策に関する要望について

●平成30年度第2回愛媛県TAC管理者会議

31年度支援要領の考え方を説明し意見・要望を集約

JA全農えひめ営農支援課は、TAC活動の充実・ステップアップに向けて、12月19日、松山市で「平成30年度第2回愛媛県TAC管理者会議」を開きました。

会議にはJAのTAC管理者など22人が参加。活動の充実強化に向けて、31年度の担い手支援要領の考え方についてJATAC管理者と協議を行いました。またTAC担当者育成のために、管理者向けのモチベーションマネジメント研修を行いました。

TACは、地域農業の担い手に出向くJA担当者の

愛称。「とことん会ってコミュニケーション」を合言葉に、県内では13 J A 109人が活動中です。



●平成30年度営農指導員·TAC現地圃場研修会

完全自動飛行のドローンなど新農機を視察!

JA全農えひめ営農支援課は、11月28日、松山市で営農指導員とTACの生産面に関する情報共有を目的に、「平成30年度営農指導員・TAC現地圃場研修会」を開催しました。

今回の研修では、9JAから32人が参加し、農薬散布のための完全自動飛行型ドローン(ナイルワークス社)や、自走式草刈機(三陽機器㈱)の実演の様子を視察したほか、圃場管理システム「Z-GIS」の取り組みを研修しました。



飛行を終えた完全自動飛行のドローンに興味津々の参加者

●ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場

七草粥配布イベントや年末感謝祭が好評でした

JA全農えひめが東温市で運営する農産物直売所とコンビニの一体型店舗「ファミリーマート・全農 ふれっしゅ広場」は、1月7日、出荷会員が県内産の七草を使って作った「七草粥」を来店客に振る舞いました。

この取り組みは、産直コーナーの出荷会員が組織 するフレッシュ市部会が「七草粥お接待」として毎年 取り組んでいる地域の消費者との交流イベントです。

当日は、出荷会員が早朝から大鍋で七草粥約200 人分を作り、来店客に「七草粥で無病息災を」など と呼びかけながら無料で七草粥を手渡しました。食 べた方は、「家で作ったものより美味しい」「毎年食 べています」などと笑顔を見せていました。

同店は12月21日~24日の4日間、1年間のご愛顧に感謝して「年末感謝祭」を開催。餅つき実演販売など多彩な催しを行い、来店された方々に喜ばれました。



大鍋で作った七草がゆを振る舞う出荷会員

●2018 J A 農機ビッグフェア

JA農機の総合展示会に1,336人が来場

県内JAとJA全農えひめ農機課は、12月8日・9日の2日間、松山市のアイテムえひめで、取扱メーカー等の協力を得て、県内統一の農機総合展示会「2018JA愛媛農機ビッグフェア」を開催しました。フェアは、農機の計画的・効率的な適正導入の促進と安全使用の啓発、効率生産に役立つ作業体系の提案や省力機械の普及促進、新機種・新製品の説明・

研修などを目的に毎年開催しており、28回目。 今回は「次世代につなぐJA農機 がんばろう愛 媛農業」をテーマに、大型農機から小物資材までメー カー20社が効率化や高品質生産に対応できる高性 能機械・省力機械、新製品や小物特価品等を多数展 示したほか、野菜作関連機械コーナーなどを設置。 JA全農えひめコーナーでは肥料農薬の低コスト資 

談、リース相談、お買い得商品等のコーナーも設置 し、農機・農業の関連情報を発信しました。

期間中は、県内JAから1,336人が来場し、最新 農機の展示・説明などを通じて性能や特徴などを確 認していました。

●伊予牛「絹の味」・「ふれ愛・媛ポーク」

ラッピングバスで愛媛のブランド肉をPR!

JA全農えひめとJA愛媛養豚経営者協議会、愛媛県肉牛生産者協議会は、1月から伊予鉄バスでラッピング広告バスを松山市の三津吉田線で運行しています。

バス乗り口の左側面には伊予牛「絹の味」、右側面には「ふれ愛・媛ポーク」のロゴを「安心・安全」のキャッチフレーズとともに掲載しています。

バスの運行を通して、消費者に「地産地消」を推奨し、新鮮な愛媛のブランド肉を食べてもらいたいという思いから実施に至りました。

J A全農えひめ畜産部は「さらに多くの人に伊予牛『絹の味』、『ふれ愛・

媛ポーク』を知ってもらいたいという気持ちから、 ロゴを大きく目立つように掲載した。今後も生産者 やJAと一緒になって消費宣伝に力を入れ販売力強 化につなげていきたい」としています。



乗り口右側面:JA愛媛養豚経営者協議会酒 井会長とひめとん



乗り口左側面:愛媛県肉牛生産者協議会本宮 会長とひめ丸

●社会福祉協議会贈呈式

県内15の児童福祉施設に、もち米とジュースを贈呈

JA全農えひめは12月12日、愛媛県社会福祉協議会を通じて県内15の児童福祉施設に、もち米とジュースを贈りました。今回贈呈した「ひめライス」のもち米640kgと「POM愛媛ぽんかん」「POMアシタノカラダみかんジュース」などジュース95ケースは、同協議会を通じて、12月21日までに県内15の児童福祉施設に届けられました。

松山市のJA愛媛で行った贈呈式では、JA全農 えひめの小越愼介県本部長が「子ども達のためにお 役立てください」と同協議会の杉野洋介常務理事に 目録を手渡しました。杉野常務から「毎年贈ってい ただきありがたい。子どもたちも楽しみにしている と思います」とお礼の言葉があり、同協議会からJA 全農えひめに感謝状が贈られました。

JA全農えひめは、 社会貢献活動の一環と して、県内児童福祉施 設の子どもたちが明る いお正月を迎えられる ように1984年から毎 年実施しており、今回 で35回目。



目録を手にした杉野常務(右)と 感謝状を持つ小越県本部長

●松山城正月イベントに㈱えひめ飲料協賛

愛媛ならでは…ポンジュースで鏡開き!

新年を迎えた松山市の松山城で、1月1日、お酒の代わりに愛媛を代表する「ポンジュース」を使った鏡開きが行われ、家族連れなど一般客約300人にジュースが振る舞われました。

この催しは、同城の指定管理者である伊予鉄道㈱が、元旦に愛媛県を代表する観光地の松山城で、クルマで来ている方や未成年者も含めて、愛媛を代表するジュースでもてなそうと2009年から毎年開いており、㈱えひめ飲料がジュースを提供しています。本丸広場一ノ門前では新年を祝う太鼓が披露され

本丸広場一ノ門前では新年を祝う太鼓が披露された後、鏡開きが行われ、㈱えひめ飲料の川田永治常務のほか、松山市と松山城総合事務所、(公財) 松



ポンジュースで鏡開きをする関係者

●㈱えひめ飲料

河内晩柑ジュースが記憶力維持に役立つ!!



POM アシタノカラダ 河内 晩柑ジュース125ml紙パッ ク/24本入 4,270円(税込)

(㈱えひめ飲料は、12月 17日に機能性表示食品 「POM アシタノカラダ河 内晩柑ジュース125ml紙 パック」の販売をスタート しました。本品は、平成 30年9月に「機能性表示 食品」として消費者庁長官 に受理されたものです。

機能性関与成分「オーラ プテン」が1パック(125ml) に 6 mg含まれるので、中高年の方の、認知機能の一部である記憶力(言葉を記憶し、思い出す力)を 維持する機能があります。

㈱えひめ飲料は「河内晩柑特有の爽やかで心地よい苦みをお楽しみいただき、『POM アシタノカラダ 河内晩柑ジュース』を認知機能の維持に役立ててほしい」としています。

— 商品のご注文は電話・ホームページから TEL:0120-591-516

ホームページ:「まじめな宅配便」で検索 https://www.pom-j.com/shop/

● J A えひめフレッシュフーズ(株)

食品衛生優良施設として愛媛県知事賞を受賞!

JAえひめフレッシュフーズ(株)字和島GPセンターが、食品衛生優良施設として愛媛県知事賞を受賞しました。11月14日に松山市で開催された「平成30年度愛媛県食品衛生推進大会」において表彰されました。

この大会は(一社)愛媛県食品衛生協会が、主催。 県内の食品事業者らが参加し、食中毒予防や消費者 への安全安心な食品の提供に向け意識を高めました。

受賞した同社の宇和島GPセンターは、県版 HACCPを導入し、徹底した衛生管理に努めてい ます。



受賞を喜ぶ(右から)大津社長、芝宇和島GP センター長、高須賀製造部長、宇都宮常務

知って得する

平成の 業をふりかえる

-平成の30年間の愛媛県農業の動き

でご紹介したように、

農地が宅地

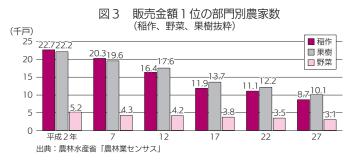
Þ

ま

ha ha

耕地面積の推移 図] (千ha) □ 牧草地 80 □普通畑 0.2 70 7.4 ■ 樹園地 6.8 0.2 60 5.3 0.2 50 6.2 36.1 6.2 33.5 6.2 28.9 40 26.4 23.5 21.4 196 30 20 10 0 平成元年 6 16 21 26 30 11 出典:農林水産省「耕地面積調査」





わたり平成の30年間の愛媛県農業の 今回は、 きを追ってみましょう。 そこで、 平成 農業生産の基礎となる農 今回と次回 の年号が 変わり 回 の 2 回 ノます。 に

動

耕地 面積 İ **4割減**

や農家のデータを見てみます。

ます。 $\underbrace{1}$ **4** 千 す。 が 2 万 ha これは本誌992号の統計BOX 25 % 図 は3万ha この ha 1 種類別に見てみますと田(注: から4万8千ねに減少してい は 30 耕 年 地 46 % あったものが2万3千 間種 で耕地面積の 樹園地は3万6千 に減少してい 積 0 以は7万 推 移 で

> り、 道路 たことにより減少したものです。 条件の悪い樹園地等が放棄さ などのインフラに 転 換され

販売農家数は半数に

給的

農

家になることも考えられ、

販売農家が規模縮小して自

る一方、

7万7千戸から4万2千戸(▲45%) や小さいの 数の減少率に比べ耕地 5万8千戸から2万6千戸(▲56%) 家が担い手農家等に農地を貸して を上回る状況となっています。 に減少しています。 へと減少し、 図2は農家数の動きです。 (販売農 は、 家 減少率は総農家のそれ +自給的 稲作を中心に離農農 特に販売農家は 面 積の減がや 農 家 総農家 農家 は

れた

家数▲62%、

田面積▲25%)。

自給的農家は、

離農する農家があ

ることが考えられま

す(稲作

1

位農

1万8千戸前後で推移しています。 農産物販売金額 稲作から果樹

1

位

は

なり、 となった平成12年には果樹が首位とりで首位でしたが、20世紀最後の年 2 門別に見ると、稲作、果樹、野菜 見た結果です。 3はその3部門の販売農家の動きを 野菜の順となっています。 第1位とする農家が2万2千戸あま 農産 が トップ3となっています。 |物販売金額1位の農家数を部 以降27年まで、 平成2年には稲 果樹、 稲 注: 作を 巡

を中心として、 動きを見ることとします。 次号では、この3部門と畜産 愛媛県の農業産出 部門

は普通 別面積 廃止したため、それ以前の 菜を合計した。 (注:2) 注 ★検索ワード= 1 田 (普通田、 と特殊田を合算し 野菜は 平 成 22 特殊田) 露地野菜と施 年に田耕 農林業センサス」 た。)水田 の調の調 種 査を 面積 設 類

省 の H 中国四国農政局愛媛支局 Pから) 統計チー

耕地面積調査

いく

ずれ

も農林水産

| R | E | A | D | E | R | S | 通 | 信 |

「あぐり~ど」1000号ってすごいですね!! 毎月楽しみに読ませていただいています。「ふるさとエッセー」や「NOW NOW COOKING」などお気に入りで、新たな情報や参考になることがいっぱいです。

1月22日、JA周桑女性部の運動 会が行われます。現在、ストレッチ体 操、ジョギングなど頑張っています。

(西条市・高橋 千代美さん)

エッセーを読んで。文中の言葉に「腹から笑うと明日からも頑張れそうになりました。これからも笑うようにします」とありますが、バルンアートをする私も小松町のある施設へボランティアに行ったとき、同じようなことがありました。何かあっても笑えば明日は開けると思います。私もさらにがんばろう!! (松山市・澤田 五十鈴さん)

関東の知人に「紅まどんな」を送ってあげたらとっても美味しかったと喜んでいただけました。今年度は気づいたらすでに自分でお取り寄せしていました。「紅まどんな」大人気です♪

(四国中央市・佐伯 民恵さん)

鋼今回のおハガキでは「『紅まどんな』 美味しかった!」というコメントが本 当にたくさんありました。「甘平」「せ とか」…などなど柑橘シーズンはまだ まだ続きます。皆さんいろいろ買って 食べ比べしてみてください!

今年もひめライス協賛のママさんバ レーで娘がお米をもらって帰ってきま した。

「NOW NOW COOKING」は、平凡な食卓に新しい味と出会えるきっかけとなっています。白菜など、鍋が主流なのでありがたかったです。

(今治市・田中 末広さん)

「オートパル松山新築店舗開店」の ニュースを読んで。よく通る道で、新 しい店舗を見ました。明るくて良い雰 囲気でした。一度行ってみようかな…。 (内子町・梅川 幸治さん)

「愛媛県くり品評会」のニュースを 読んで。私の知っている人が、農林水 産大臣賞を受賞していて、早速お祝い の言葉をかけることができて良かった です。 (西予市・薬師神喜久代さん) 劉今月号P10に農林水産大臣賞を受賞

(場)今月号P10に農杯水産大臣賃を受賃 されたお二人のお写真を掲載しています♪

お知らせ

読者名簿更新について

JA全農えひめ情報誌「あぐり~ど」は、愛媛県内JAの役員(非常勤理事・監事含む)・職員、生産組織や女性組織のリーダー、県行政や関係機関、県内報道機関を対象に無料配付しています。

読者名簿の更新を随時行っています。名簿更新により、新たにお届けする方とお届けできなくなる方がいらっしゃいます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記

今でも、暑い日も寒い日も農作業を頑張る祖父母へのリスペクトは変わりません。

まだまだ寒い日が続きます。 皆さん、外で作業される時は しっかり防寒対策を!!

(有紗)

今月の クイズ

12月3日、JAグループ愛媛が開催した「JA愛媛県大会」は何回目の開催でしょうか?

第〇回」

プレゼント

クイズに正解した方の中から 抽選で、図書カード1,000円 分を10名様にさしあげます。



応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対する ご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送く ださい。

締切り

平成31年3月15日(当日消印有効)

発 表

「あぐり~ど」 4-5月号で発表します。

当選者発表

12月号の答えは「オレンジ(デー)」でした。たくさんのお便りありがとうございました。

厳正な抽選の結果、次の10人の方に 図書カード1,000円分をお送りします。

長下 政恵さん (宇和島市)

三好志江子さん(八幡浜市)

米花佐智子さん(八幡浜市)

伊達 詩織さん (内子町)

川上 祐子さん (東温市)

亀田 均さん (伊予市)

井手 まりさん (松山市)

山本 美空さん(今治市) 髙橋 義昭さん(西条市)

永井 民枝さん (西条市)

NOW NOW



指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大佐古 正子先生

OOKING 今月の素材 ほうれんそう



石鎚おろしに、甘み倍増 緑黄色野菜トップクラスの栄養価

|ほうれんそうと豚バラのさっと煮

〈材料・4人分〉 %1人あたり約132kcal ほうれんそう 1束(150g) 豚バラ肉 (スライス) 100 g 1/4本 人参 1/4個 ユズ 400cc だし (A) みりん 大さじ2 薄口醤油 大さじ2

〈作り方〉

と魚介のピーナッツ炒め

(左後) ほうれんそうと豚バラのさっと煮

- ① ほうれんそう・豚バラ肉は5cmに、人参 は千切りにする。
- ② ユズは皮を干切りにし、果汁をしぼる。
- ③ 鍋にAを沸かし、豚肉と人参を入れて火 を通し、ほうれんそうを加え、さっと煮る。
- ④ 器に盛りつけ、ユズ果汁を加え、皮をの せる。

%1人あたり約179kcal 〈材料・4人分〉 ほうれんそう 1束(約150g) シーフードミックス (冷凍) $170 \mathrm{g}$ モヤシ 1袋 ピーナッツ 50 g ニンニク (スライス) 1かけ サラダ油 適量 洒 大さじ2 濃口醤油 大さじ1 (A) 大さじ2 オイスターソース 甜麺醤 大さじ1 適量 ラー油 糸唐辛子 適量

〈作り方〉

- ほうれんそうは 5 cmの長さに切る。 シーフードミックスは塩水につけて解凍 し、水気を切っておく。
- ボウルにAを混ぜ合わせる。
- フライパンにサラダ油とニンニクを入 れ、弱火で炒め、香りを出し、ピーナッツを炒めて、①、②、モヤシを加えて炒め、 ③をからめる。
- 器に盛りつけ、好みでラー油をかけ、糸 唐辛子をのせる。
- ※冷凍シーフードの塩水解凍はプリプリ仕上 げの裏ワザ!

ほうれんそうとふわふわ玉子のチーズ焼き

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約383kcal ほうれんそう 1束(150g) サラダ油 適量 卵 4個 牛乳 50cc $^{(\!A\!)}$ マヨネーズ 大さじ2 塩・コショウ 少々 ツナ 1缶 (140g) 塩・コショウ 小力 10 g バター ピザチーズ 大さじ4 パセリ (みじん切り) 滴量

〈作り方〉

- ほうれんそうは5cmの長さに切る。 1
- ボウルに卵を割りほぐし、風を混ぜ合わ せる。
- フライパンに油を熱し、②を入れて火を 通して取り出す。
- フライパンに油を熱し、①とツナを炒め て塩・コショウをふり、バターを加える。
- 耐熱皿に④を入れ、③をのせ、ピザチー ズをのせて、トースターで3~5分焼く。
- ⑥ 最後にパセリをふる。



燃えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地 TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

http://www.ehime-inryo.co.jp (通販専用)http://www.pom-j.com









